

ケアに関する私たちの考え。

レザー製品をつくる多くのブランドは、ケアをしながらきれいな状態を保ち、丁寧に使い込んでいくことを推奨していますが、私たちは使用によるキズやシミを、決してネガティブなものとしてとらえていません。

人は誰もが違った尊い存在であるように、素のレザーにはもともと個体差があります。キズや色ムラは天然素材ゆえの証とし、コーティングなどで隠すことをせず、そのままの風合いをむしろ大切にしながら仕上げています。

なのでお手入れもまた、使う人それぞれの考えに委ねています。

できるだけ買った時の状態を長く保ちたいのであれば、レザー用のケアクリームがあります。表面に付着した汚れを馴染ませ、乾燥や退色を和らげ、革に潤いとツヤをもたらします。

また革は湿気に弱く、タンパク質が主な成分のため、カビの生えやすい素材です。雨に濡れるとシミになる恐れもあります。そこで防水スプレーを使うのもよいでしょう。水を弾くだけでなく、汚れも付きにくくなり、風合いも長持ちします。
(これらのケア用品はオンラインストアでご購入いただけます)

「経年によるクセもまた愛おしい、それも自分らしい」とあなたが感じたなら、とくにケア用品を使う必要はありません。ただ雨に濡れた時、長く使わずにしまっておく時は、新聞紙などをくしゃくしゃにして、中に入れておくとよいでしょう。

または、この紙を使っても構いません。表面に凹凸のある紙ですので、新聞紙と同じく吸湿および脱臭効果があり、繊維の層にある隙間に匂いが入り込んで、湿気を吸着してくれます。

もしもあなたが「それはもったいない、大事にとっておきたい」と思ってくださったなら。私たちにとって、こんなにうれしいことはありません。

